

エネルギー事業から始まり、 多彩なサービスで豊かな暮らし、ビジネス支援、魅力あるまちを実現

サーラエネルギー株式会社

2050年カーボンニュートラルビジョン

サーラグループはお客様の暮らしとビジネスの両面から地域全体の2050年カーボンニュートラル実現を目指します。



【地産】 J-クレジットの創出 1

法人向け：ボイラの油⇒ガス体燃料への転換と高効率機器への更新によるCO2排出削減



【地産】 J-クレジットの創出 2

一般家庭向け：家庭用燃料電池エネファームの導入によるCO2排出削減

⇒ エネファームの発電の自家消費による削減効果を取りまとめ、J-クレジットを創出

エネファームで
自家発電

化石由来の
買電を減少

CO2削減効果



地域のお客さま



環境価値を引き受け
(クレジットの地産)



「サーラカード」
ポイントの還元



発電の余剰分の買い取り
(電気の地産)

J-クレジット化・集約

審査機関等への
登録認証手続き・管理



sala

J-クレジットの売却・活用
(クレジットの地消)



地域のお客さま



発電の余剰分の販売
(電気の地消)

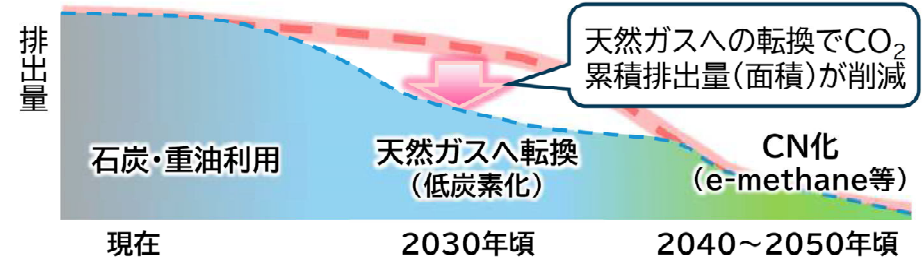


地域の他のお客さま

J-クレジットの活用事例 1：カーボンオフセットガスの販売

熱源のカーボンニュートラル実現に向けたシナリオ：

- 既存のインフラを活用し
原料の脱炭素化に向けて段階的かつシームレスに移行



トランジション (移行期)

2050年：カーボンニュートラル

熱源

① 燃料の低炭素化
油→ガス体燃料への転換



都市ガスへの燃料転換で約20%削減

② カーボンクレジットでCO₂をオフセット



実質CO₂排出量ゼロの

「カーボンオフセットガス」を提供

③ 2050年までに
都市ガス原料の脱炭素化

e-methane イーメタン

再エネ由来H₂とCO₂の合成燃料
燃焼で排出するCO₂は
原料として回収する分と相殺
(環境価値は不要)

【当社の課題】 J-クレジット調達の大半は自社創出 (地産) ではなく市場等で確保

J-クレジットの活用事例2：カーボンオフセットサービス付車両の提供

お客さまと共に地域のカーボンニュートラル社会の実現に貢献

カーボンオフセットサービス付車両の提供を開始

サーラカーズジャパンが販売あるいは使用する自動車から排出されるCO₂をグループ会社のサーラエネルギーから調達したカーボンクレジット(J-クレジット)でオフセットすることにより、実質ゼロに。お客さまとともに持続可能な社会の実現に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

